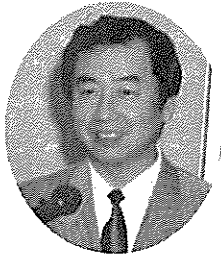


なら生協連 ニュース

No. 8
92. 10. 20

奈良県生活協同組合連合会
奈良市唯1丁目2-2 ならコープ街
☎(0742)34-3535
FAX(0742)34-0043



国際平和研究学会交流会に参加して

奈良県生協連・専務理事

瀧川 潔

国際平和について研究し活動する世界の研究者・NGOを中心とする人々が7月27日より5日間、京都の立命館大学で「国際平和研究学会京都大会」を開催、討議の後、青年団、地婦連、生協等NGOとの夕食交流と対話集会在立命館大学生協ホールで7月29日、開催されました。

欧米・アジア等各国からの参加者は、世界で初めて戦争による核の被害を受けた日本における平和の活動に重大な関心を持っており、国家や民族、宗教にかかわらず、冷戦の「終結」した今日の世界での平和の実現の必要性と、私たちNGOの活動の重要性についてこもごもに発言されていました。

私たちは、直接の対話集会に約1時間出席しましたが、青年団、地婦連、生協の活動紹介と会場の各国からの質問、応答で、慣れない同時通訳受信機を使ってのやりとりに的の絞りにくい主催者への御苦労をも感じ、他国の活動の実情を知らずに参加することの不十

分さを感じました。

やはり、ある程度の他国の活動の知識とせめて最初からの大会出席でなければ内容把握はとても困難だと思います。

しかしながら、①世界での平和の活動が進展していることを感じる事ができたこと、②奈良に於いても、青年団や地婦連が生協とともに平和の活動を進めることができるよう、いっそうの努力をする必要があること、③NGOとしての市民活動が平和にとってはどうしても必要な活動であることに確信を深めたこと、の三つを今回の参加の成果とすることができたと思います。

この京都大会を準備された皆さん、立命大の安斎育郎先生、京都府生協連の方々にお礼を申しあげるとともに、「平和とよりよき生活のために」という賀川豊彦提唱といわれるスローガンを、さらに地域に広め、協同の輪を広げて行くことができるよう、奈良県の多くの皆さんとともに頑張りたいと思います。

★★ 暮らしの中に、「人としての協同」を生かそう ★★

トーク・トーク

ふ・れ・あ・い



この秋

♡♡♡ 思 う ♡♡

奈良教育大学生協

専務理事 疋田 利政

暑い夏も終り、奈良にもやっと秋の気配が漂ってきた様子です。京都から通勤するようになってはや4カ月が経ちますが、季節の深まりとともに奈良のすばらしさを日々再発見しています。

さて、国内外の情勢ですが、この半年間だけ取ってみても「与野党なれ合いの中でのPKO法案の国会通過」や参議院選挙、引き続き奈良市長選挙、そして佐川急便による金丸氏への5億円献金事件など、経済的に世界でもトップクラスであるはずの日本が、経済的にはまったく2流3流であることが改めて明らかになった半年でもありました。

ブラジルでは贈賄を受けた大統領が圧倒的国民の批判に合い、辞任を余儀なくされたこ

とと比較するだけでも、日本の政治風土の後進性が際だっています。とりわけ5億円の献金をたった20万円の罰金で済ますなんて、私たち生協に身を置く普通の生活者の感覚では全くお話にもならないことです。

この秋開催されるICA東京大会では「協同組合の基本的価値」について論議がされていますが、私は「基本的価値」の大事な前提として、常に「国民が主人公」の考え方があると考えています。したがって、経済民主主義をめざす我々にとって、この佐川問題は絶対に黙過できないことです。

みなさん、この秋は大いに「基本的価値」と平和・民主主義について考えようではありませんか。

県連活動

Are・Kore

— 奈良県行政・生協協議会が開かれました。 —

奈良県生協連が結成されて3年目になりますが、この間、生協活動の実態を把握していただき、より一層の理解を得られるためにと、県民生部社会福祉課と県連との協議会が数回持たれています。

今年度も第1回協議会が8月11日、奈良県文化会館会議室に於いて、県民生部社会福祉課から尾山課長補佐、南浦係長、中川主査の参加を得、県連側から瀧川県連専務、小林女子大生協専務、疋田教育大生協専務、森事

務局長の4名の参加で行われ、大学生協の校費利用問題について協議されました。

また、10月1日には第2回協議会として県内での生協運動に対する要望等について話し合いが持たれました。これには県民生部から安曾田部長、梅村次長、社会福祉課・尾山課長補佐、南浦係長がご参加いただき、県連からは繁田会長以下理事会メンバー10名が参加しました。

1992年度 生協強化月間活動基本方針

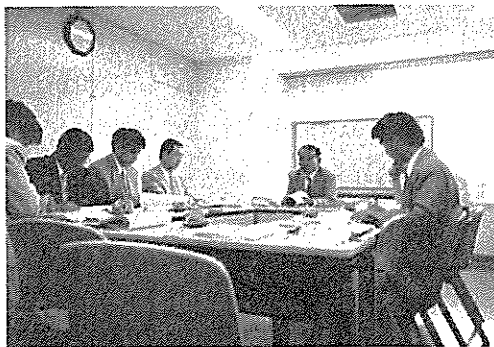
奈良県生協連は秋の生協強化月間活動の基本方針をうちだしました。

<奈良県連のテーマ> 暮らしの中に、「人としての協同」を生かそう

- 1). 各生協組合員、奈良県民の生活及び生活文化の向上に関するとりくみを強化し、消費者の権利や平和を守り、暮らしを豊かにする活動を強めましょう。
 - ①水、空気などの汚染の問題を見つめ、暮らしと環境を守る活動にとりくみましょう。
 - ②平和を守り、広げる活動にとりくみましょう。12/8ノーマア・ウォーのつどいを成功させましょう。
 - ③製造物責任法（PL法）の制定を求める運動にとりくみ、学習活動をしましょう。
- 2). 10/25 協同組合フェスティバルを成功させましょう。
 - ①各生協の工夫で、楽しく協同の意義をアピールしましょう。
 - ②農協など他の協同組合との連帯、提携を広げましょう。
- 3). ICA東京大会のとりくみの中で、生協の社会的地位を高める活動を強化しましょう。
 - ①農協や森連との協同組合連絡協議会の結成を実現しましょう。
 - ②労福協など県内諸団体との相互理解と友好連帯にとりくみましょう。
 - ③県行政との関係を強化し、県連活動へ協力・支援を要望しましょう。



事務局が静岡県連研修



奈良県生協連は、事務局研修を毎年2回行っていますが、この夏の8月4～5日、静岡県連に研修をお願いし、瀧川専務理事と県連事務局の計7名が参加しました。

創立25年の静岡県連は、暮らし、福祉、平和の活動で幅広い活動を展開されていて、学ぶべきことが多く、特に協同組合間の提携活動では農協婦人部と生協理事との交流会、行政との連携では環境・福祉問題での県担当課との懇談会などおおいに参考になりました。

国連環境開発会議（地球サミット）

— 日本 の 生 協 から 5 1 名 が 参 加 —

地球環境保護を人類共通の課題として確認し、各国の環境保全のとりくみを促進するために、今年の6月3日から14日までブラジルで「国連環境開発会議」（地球サミット）が開催されました。

世界中から183ヶ国もの首脳が集まり、「リオ宣言」「アジェンダ21」の採択、環境保全のための条約の調印が行われました。

これに関連してさまざまな取り組みが企画

あおがき9月号より

（ならコープ機関誌）

「二年前、牛乳パック回収運動を通して、地球環境の実態を知り、今日から自分でも何か出来るのではないかと思いはじめ、環境問題に強く関心を持ちました。その後、桜井市の分別収集を進める“リサイクル桜井”に所属していたところ、地球サミット参加者をゴミの関係から一人募るというお話をいただき、家族とも相談し、参加することに決めました」と池端さん。

「十年くらい前に地域委員をしたのがきっかけで、西大和のお店を中心に牛乳パック回収を始めて、ゴミを考える会を作りました。その後、仲間とカートクラブを結成し、その運営委員をしています。地球サミット参加のお話があり、快く引き受けました。」と宮田さん。

お二人とも参加するにあたり、ご家族の協力があつたからこそ、とお話下さいました。

留守を守るご主人、そして子供さん達は、お二人の姿を見て社会参加への理解をより深

され、生協も草の根の活動を行っているNCOとして、主要には「92グローバル・フォーラム」に参加しました。

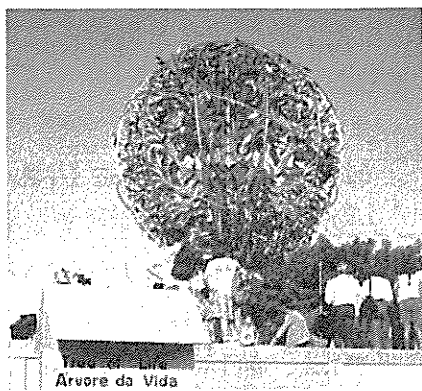
ならコープからも、常勤理事の小川和生さん、組合員を代表して池端絹代さん、宮田佳代子さんが参加されました。



められたのではないのでしょうか。

「出発前の学習はとても大変でしたが、資料を読むにつれ、深く学ぶことが出来ました。現地のフォーラム会場には、675の展示ブースがあつて、自然保護、教育、少数民族、女性、人口、エイズ、宗教など、いろいろな分野の展示もあり、五日間いたんですが、暑さや言葉の違いなどもあつて時間が足りないくらいの思いでした。もっと交流がしたかったですね。水銀汚染、森林破壊など大きな問題がありますが、私たちが普通の生活を見直すことから始めなければ、と思いました。」

宮田さんのお話です。思いはあつても知らない土地で、精神的にもお疲れの様子がわかりました。



池端さんはブラジルの印象を、
「比べようのない貧富の差を感じました。フ
ァベラというスラム街があることは知って
いましたが、驚きました。」「日本で、もし
あれだけの大きな大会があるとしたら、設備
も準備も万全で開催されるでしょうが、設備

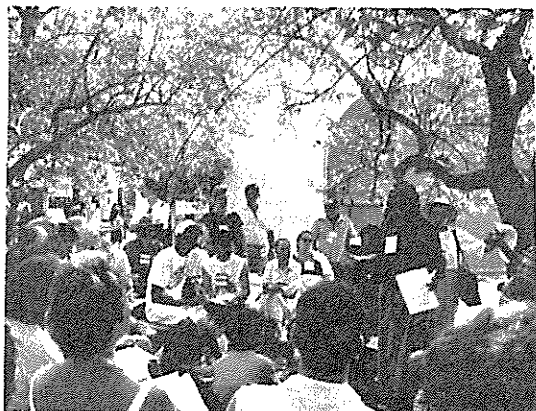
もグローバルフォーラムのお金も足りないとい
う現実を見れば、豊かすぎる日本をつく
づく考えさせられました。努力してもその生活
から抜け出せない路上生活者や、子供達を見
ていると、その現実を多くの人達に伝え、今、
自分がしている小さな活動を続けていくこと
が大切、と感じました。」

池端さんがお話下さった小さな活動は、き
っと一番大切な大きな活動であると思いま
した。最後に組合員さんのおかげで貴重な体験
ができました、ありがとうございました、と
結ばれました。

日生協全国組合員活動情報より

* 「92グローバル・フォーラム」への参
加は、のべ165ヶ国・7500団体。2
50の会議や300ほどの展示がなされ、
約3万人の人が、それぞれの立場でその国

を代表して参加。日本からも30以上の団
体、約360名（生協からは、24生協・
51名）が参加しました。



会場のフラメンゴパークの様子



生協の展示ブース「CONSUMER COOPS
IN JAPAN」の前では様々な交流が行われま
した。

労済生協

労済生協では、9月より3ヶ月間を終身共済マインド・ねんきん共済・マイカー共済のキャンペーン月間と設定し、宣伝強化及び加入拡大に力をそそいでいます。

月間期間中の活動としましては、去る9月24日に奈良ロイヤルホテルにおいて「全労済担当者研修会」を開催いたしました。約80名参加の中、生協理念と生涯生活保障についてをテーマに約3時間の研修会となりました。

また、その他の月間期間中の活動としましては、宣伝活動の強化としてマス宣伝・新聞広告・新聞折り込みを計画しています。

このキャンペーンを上半期重点活動と位置づけ、期間中に年間目標の50%を達成すべく奮闘しております。

ならコープ

安心・安全・リサイクルの活動

<リサイクル>

①ごみ問題へのとりくみ

奈良市が待望の瓶、缶の分別回収モデルを7月から始めました。7月で21自治会2,251世帯であき缶770 Kg、瓶2,335 Kg。8月で33自治体4,505世帯、あき缶2,376 Kg、瓶5,429 Kg。9月はとりくみが57自治会7,711世帯になりました。

ならコープでも「コープリサイクル」をつくり学習会をして来ました。

秋にはさらにミニ学習会、見学会をたくさん行いまちづくりのとりくみを強めたいと思

夏から秋にかけて、また、秋の強化月間の各生協のとりくみをお聞きしました。

ます。

②リサイクル社会の創造（牛乳パック、トレーの回収）

牛乳パック回収もリサイクル社会の創造をめざしてとりくみ、ミニステーションが700をこえ、職員ボランティアも50人以上になりました。回収量は2カ月で15トンが定着して来ました。

トレーも5つの環境サークルで回収がはじまり、積水化成成品工業に持ち込んでいます。

③あき缶回収

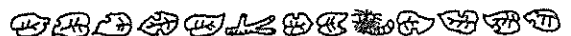
アルミ缶を入れると1円玉が出る自動回収機を店舗に置きました。コープおしくまでは8月だけで28,000缶、98%はビールでした。200缶のうちコープのは5缶でした。ビール会社も売るだけでなく資源回収にとりくんでほしいものです。

④水・やさしく・かしこく・リサイクル

班長会に12,000人が参加して奈良の水について考えています。また、酸性雨の簡易パックテスト活動も行っています。

<平和>

3カ月間東京ー広島を三谷君は歩きました。また、奈良での平和行進も多くの参加と工夫がありました。奈良市の平和モニュメントへのカンパ活動、ヒロシマ行動への参加、平和のつどいとして「朝ちゃん」の一人芝居にも多くの親子が参加するなど活動が広がりました。いま、12.8ノーモアウォーのつどいを準備しています。



<たすけあい>

「たすけあいの会」活動も広がり毎月80回
くらいの奉仕活動が行われています。

「食事の会」もコープ六条、みみなしについ
でコープおしくまで行われるようになりました。

<商 品>

地域委員会でコープ10の産地見学が多く行
われました。その結果を模造紙に絵で書き班
長会で発表をしています。また、今年から各
店に店舗委員会が誕生しました。

<生活文化>

「怒る富士」にとりくみ、たくさんの参加
がありました。10月は「カルメン」を上演し
ます。山形県の大蔵村に子供だけで酪農の家
にホームステイをしました。

その他、京都、三重漁連などたくさんの企
画を行いました。秋もウォークラリーなど企
画が目白押しです。「あおがき」の企画案内
をお楽しみに！

<消費者運動>

製造物責任法の早期実現をめざす団体署名
に取り組んでいます。10/10日現在43団体に
なりました。11月には5万人個人署名に取り
組めます。

<第5回協同組合フェスティバル>

10月25日にむけて準備は急ピッチ。昨年よ
り多くの出店が揃いました。「安心 安全
リサイクル」にふさわしく、ソーラーカー展
示など工夫と催しがいっぱいです。「あしべ」
ちゃんも登場します。

女子大学生協

奈良女子大学生協では、9月3日から5日
まで2泊3日で学生委員会合宿が行われまし
た。

合宿の中では、「自分のしたいことは何な
のか」「他の人の考えていることに対して自
分の意見は」などについても話し合いが行わ
れました。自分の興味関心以外の物事につい
て考えることの出来たすばらしい合宿で、夜
も大いに盛り上がりました。

秋の取り組みは、この学生委員会を中心に、
参加の輪を広げ教職員の方も含めた幅広い取
組みを行っていききたいと考えております。

10月3日と4日には、全国の読書生活交
流集會に理事長先生が出席されるのをはじめ、
10月27日と28日には、奈良で大学生協
の共済の実務研修會があり専務理事が参加し
ます。

学生委員会は、10月の23日と24日に
新入生歓迎の取組みに向けての合宿を行い、
翌日には協同組合フェスティバルに出店を行
う予定です。さらには、総代との合同企画で
多賀のフルーツ園に行く、あるいは、今冬の
レインボーシュプールを自分たちの手で成功
させようと実行委員会を開催したりと盛りだ
くさんです。

事業の面では、10月5日よりプリペイド
カードを導入し、消費税導入後面倒だった小
銭を追放し、食堂での衛生面での改善を計り、
更に合理的経営を目指します。

様々な点で変化に富んだ92年度下半期を
奈良女子大生協は迎えようとしています。



教育大学生協

奈良教育大学では8月上旬より月末までの夏休みののち、8月31日からの前期試験を終え9月いっぱいが秋休みとなり、サークル活動と教育実習の学生以外は帰省などで、この1ヶ月ほどはほとんど見るべき活動がありません。

夏休み前の7月には大学生協関西地連のサマーセミナーに2回生を中心に5名が参加し、他大学との交流を通じて秋からの活動のイメージを一人ひとりが広げてきました。

また、お盆前にはパートさんと共に上半期の活動を振り返り、下半期の課題を共有化しました。

下半期は、食堂・書籍にPOSレジを導入し、また決裁システムとして全部門でのプリペイドカードの導入、私費の売り掛けシステム、書籍システムなどの導入などを検討しており、ハード投資もかなりのボリュームになります。POSレジは食堂ではすでに9月21日から導入され、レシートによる三群栄養価表示が学生の中でも話題になっています。

組合員の要求を実現していく活動では、これまでの延長線上ではなく、学生委員や生協委員、総代などの要求を大切にしながら、秋には学園祭で第2回クリーンキャンペーンをそして、県連の平和の取り組みにも連帯しながらピースウィークを設け、平和行進の通し行進者の三谷さんと呼んでの対話集会などを行いたいと計画しているところです。



ならコープ・くらしの講座 杉林の中にて

こむらいふ
土岐 正子

8月のくらしの講座は、「割りばし戦争をもう一度」というテーマで吉野を訪ねました。

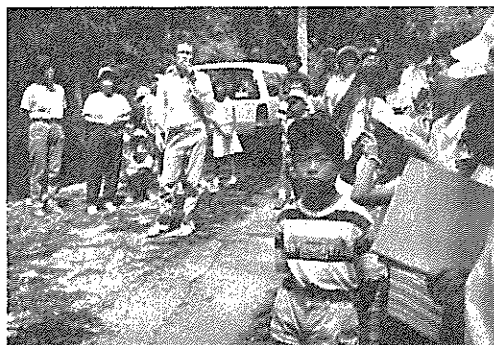
一時期、「割りばし」は森林を滅ぼす、と悪者扱いにされ、いろんな情報のとびかう中で、自分たちの目で見て直接感じたかったのと、杉林の中に立ち入って、山に住み、山で生計をたてている人々の話を聞き、森と水との密接な関係までも知りえたいと思ったからです。

帰りのマイクロバスの中で、参加者に感想を書いてもらいました。その一枚です。

★いままで割りばしはもったいないと思って「割り箸戦争」も読んでいましたが、今日参加し、木一本も無駄なく利用するには、わりばしを使うのも自然の姿で良いのだ。むしろ木の感触、木の匂いを感じ、割り箸で食事することも日本人として大切にしたいと思いました。木を育てておられる方の生活のためにも。森林→木材工場→割り箸工場とくわしく見せて頂き良く分かりました。★

一つの「物」に対していろいろな考え方ができます。

11月末に「くらしの講座」の受講生を対象に「話しをふくらます会」を持ちたいと思っています。ぜひご参加を！



欠陥商品被害から消費者を守る

製造物責任法 (PL法) の早期制定にむけて

製造物責任法は消費者を守る

あたらしい法律

「家庭でゆっくりテレビを見ていたら、突然テレビが火を噴いた。」「化粧品でかぶれた。」「おなべの取ってがはずれた。」「オートマチック車が急発進した。」……。

最近良く聞くことですが、このようなとき被害や危害をこうむった場合、「メーカーか販売店に苦情を持ち込み弁償してもらおう。」「面倒なので泣き寝入りする。」など対応はまちまちで、補償もメーカーのサジ加減にまかされているのが現状です。

メーカーにきちんとした賠償責任を求める場合、現在の法律のもとでは被害者がその因果関係について立証しなければなりません。並大抵のことでは解決されないからです。

そこで、消費者が商品の欠陥で被害を受けたことを証明するだけで救済の措置がとられるように、消費者の権利を守るための法律が『製造物責任法 (PL法)』なのです。

PL法リーダー養成講座

(9/27日生協関西地連主催) 一原 早苗氏 (財)消費科学センター・消費科学総合センターの講演から一

①「製造物責任」をめぐるこれまでの流れ

アメリカ・ヨーロッパ諸国では既に実施。

日本でも企業は国外向けには対応している。

②現時点での国民生活審議会、産業構造審議会での論議

- ③法律上の論点
 - ・過失責任・欠陥責任
 - ・推定規定
 - ・開発危険の抗弁

④産業界は何に反対しているのか

法律上の論点、影響論 (予測できない、時期尚早論)。

全国の消費者・市民団体、生協は、「PL法消費者連絡会」の提起を受け、この秋に団体署名、個人署名のとりくみを急いでいます。

団体署名は、10月13日現在、47都道府県で1517団体となっています。

奈良でのとりくみ

ならコープ

- ・学習会 これまでに無教に開いています。
弁護士さんの話しやビデオ学習

- ・団体署名 43団体

(野仏会、巖谷会、フック会、朝陽会)

- ・個人署名 目標5万人

おやさ生協

- ・団体署名 理事会で決定
- ・個人署名にもとりくみます。

教育大生協

- ・学習会 理事会で(講 片誌子社)

奈良県生協連

- ・団体署名 10/1 理事会で決定
- ・学習会 10/23 事務局で(講 片誌子社)

これらについて、長年の消費者運動を推進されてこられた豊富な経験から、国民生活審議会の委員としての立場から、どう考えるべきかをお話しくれました。

昨年11月から政府の諮問機関である「国民生活審議会」で検討されてきた「PL法」答申の結論が来秋に見送られそうな動きもあり、学習、署名、宣伝など、また、国会議員や地方議会への働きかけ等、私たちの運動がますます重要になっていることが強調されました。

第30回 I C A 東京大会の成功を



★開催日 92年10月27日から30日

★開催場所 東京・京王プラザホテル

★大会テーマ I. 協同組合の基本的価値
II. 環境と持続可能な開発



4年に1度開かれるこの大会は“協同組合のオリンピック”ともいわれ、文字どおり世界中の人が東京に集まります。

今回も外国からの参加者が1,000名を超えると予想されています。アジアではじめて開かれるこの大会の成功に向けさまざまな企画が開催されていますが、本大会に先だって開かれる大会に奈良からも次の方々が参加

することになっています。

10月23日・生協公開会議参加

奈良県生協連専務理事(ならコープ専務) 龍川 深
ならコープ 常勤理事 金井 保

“ 理 事 谷川規矩子

10月23日・女性大会参加

ならコープ 理 事 吉田 信子

ICAとは?

● 組合員約7億人を擁する世界最大の民間組織です。

ICAとはInternational Co-operative Allianceの略称で国際協同組合同盟と訳されています。1895年にロンドンで設立され、現在、79カ国の193全国組織と10の国際機関がその会員となっています。

● 自助・互助と民主主義の精神のもとに

ICAは、社会的、経済的、政治体制のいかに問わず、自助・互助と民主主義の精神のもとで、協同組合原則を遵守するあらゆる協同組合(農協、漁協、森組、生協、住宅協同組合、保険協同組合、信用・銀行協同組合、生産協同組合など) によって構成されています。また、協同組合運動を、国内的にも国際的にも発展させていこうと努力している会員組織を支援するものです。

つまり、社会的にも異なる世界の人々が、協同組合に結集、協力し合い、環境破壊や貧

困と戦い、恒久的な平和と繁栄を願う地球人類の希望をかなえるために努力しているのがICAで、私たちにとってたいへん身近な存在なのです。

日本では日本協同組合連絡協議会(JJC)構成団体の10団体が加入しています。

全国農業協同組合中央会

全国農業協同組合連合会

全国共済農業協同組合連合会

農林中央金庫

社団法人 家の光協会

全国新聞情報農業協同組合連合会

日本生活協同組合連合会

全国労働者共済生活協同組合連合会

全国漁業協同組合連合会

全国森林組合連合会

第5回

協同組合フェスティバル

やさしくかしくリサイクル

10月25日(日) 10:00 ~ 15:00
(雨天決行)

ところ 奈良県営競輪場駐車場

(近鉄平城駅下車徒歩7分)

- 主催 ならコープ
- 共催 奈良県生活協同組合連合会
- 後援 奈良県
- 参加費無料

- { 県連紹介コーナーでは模擬店を出します。
- { どうぞよろしく。
- 労済生協 ...みたらし団子
- { おやさと生協...ビール、ジュース
- 女子大生協 ...カレーライス、おでん
- { 教育大生協 ...きつねうどん、天ぷらうどん
-
- {
-



夢いっぱいのおまつり広場

■奈良県のうまいものいっぱい。

山の幸、川の幸

あわもち、きびもち、アマゴ、こんにゃく
山菜、漬物などなど。



■ステージ

熊のぬいぐるみショー

素敵な景品があたるミュージックビンゴ

寸劇 「牛乳パックの旅がらす」

チャリティーオークション



☆産直品の数々

■チビッコ広場

こどもステージ「少年アシベと遊ぼう」

ふわふわゴリラ

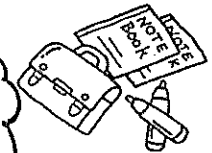
ミニ馬車

紙芝居

金魚すくい・あてもの

親子木工づくり

竹馬、竹とんぼ、水でつぼうであそぼう



☆チビッコ広場

☆環境問題を考えるコーナー

☆フリーマーケット

☆リサイクル不用品大バザー

☆日用雑貨コーナー

☆お母さんの手づくりコーナー

●問い合わせ先

ならコープ組合員活動部

0742-34-8735

県連日誌



92年

*7/29 「第14回国際平和研究学会・京都会」での市民団体主催の夕食・対話集会（専務理事）

8/4～5 静岡県連事務局研修

8/11 県行政・生協協議会（第1回）

9/8 第6回事務局会議

9/9 協同組合フェスティバル・第3回実行委員会

9/17 ノーモア・ウォーのつどい・第1回実行委員会

*9/25 第2回府県連事務局担当者会議（事務局長）

9/25 協同組合フェスティバル・出店説明会

*9/29 PL法リーダー養成講座（事務局2名）

9/30 協同組合フェスティバル・第4回実行委員会

10/1 第3回理事会

10/1 県行政・生協協議会（第2回）

10/6 第7回事務局会議

ノーモア・ウォーのつどい

一語りベコンサート 新谷のり子-

(歌・語り・スライド)

日時 12月8日(火) 午後1:30~3:30

会場 奈良県婦人会館(奈良市)

規模 100人

参加費 無料

主催 ならコープ・共催 奈良県生協連

—お知らせ—

第31回全国消費者大会

日時・11月17日(火) (分科会)

10:30 ~16:30

会場 東京都消費者センター他

・11月18日(水) (全体会)

10:30 ~11:30

会場 星陵会館(東京)

製造物責任法の制定を求める11.18

消費者集会(仮称)

日時 11月18日(水)

13:30 より1時限

会場 日比谷・野外音楽堂

規模 3,000人

主催 第31回全国消費者大会実行委員会

PL法消費者全国連絡会

第26回 全国生協大会

日時・11月18日(水)

午後1時30分 製造物責任法制定要求集会(特別参加)

・11月19日(木)

10:30 ~12:45

会場 日本青年館(東京)

規模 約1300人

テーマ 「環境と協同～あなたも地球協同組合人」

